

「3D シミュレーションを用いた肝尾状葉の解剖学的解析と合理的な切除方法の検討」

のお知らせとお願い

●研究の目的

肝切除において肝臓の局所解剖を理解することは安全に手術を行う上で必須です。肝臓の区域の中でも特に尾状葉の関わる肝切除は難易度が高いと言われています。その理由は尾状葉が身体の深い位置にあること、肝静脈や下大静脈、肝門版といった組織に囲まれており、出血や胆汁漏のコントロールが難しいことが挙げられますが、そもそも尾状葉の解剖学的境界を認識することが困難であることが、手術を難しくしている要因です。今回の研究の目的は、近年臨床応用が進んでいる、3D シミュレーションソフトウェアを用いて肝尾状葉の解剖学的解析を行うことと、その結果をふまえて、尾状葉腫瘍に対する合理的な切除方法を検討することです。将来的には、手術の安全性の向上及び切除適応の拡大につながり、がんを始めとする肝切除を必要とする患者さんに役立つものと考えられます。

●研究の対象と方法

2012 年から 2014 年までに、当院で生体肝移植術の適応を検討するために受診されたドナーもしくはドナー候補の方、及び 2014 年から 2017 年までの 4 年間で、当院で肝切除を予定した患者さんを対象として、CT の画像情報を含む、過去の診療情報を利用させていただきます。

●保存してある診療情報を研究に用いることについて

本研究では診療情報の提供者に危険・不利益が及ぶ可能性はありません。その理由は、①診療情報を厳重に匿名化して研究を行うので、プライバシーの侵害が生じる恐れがないこと、②保存してある過去の診療情報を用いるので提供者に新たな身体的負担がかからないこと、です。本研究は、当院で医療行為を受けられる方にご承諾いただく包括同意の範囲内で行いますが、提供者等からのご希望があれば、その方のすでに保存してある診療情報等を研究に使用しないようにします。

以上、ご説明した研究に当てはまると思われる方で、当院に保存されているご自身の診療情報を研究に使わないで欲しい、というご希望があれば、担当医までお申し出いただきますようお願いいたします。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、当院におけるご自身の診療には何の影響もなく、不利益をこうむることはありません。

●研究の公表

(1) Anatomical boundary between the caudate lobe of the liver and adjacent segments based on three-dimensional analysis for precise resections.

(2) Central hepatectomy using the hilar approach for removal of tumors in the paracaval portion of the caudate lobe.

(3) 3D シミュレーションを用いた肝尾状葉の解剖学的解析と合理的な切除方法の検討

●照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科、人工臓器・移植外科

研究責任者：長谷川潔、連絡担当者：真木治文

〒113-0033/8655 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 肝胆膵外科、人工臓器・移植外科

Tel: 03-3815-5411(内線 30385) Fax: 03-5800-9871